

キッズ・モニターアンケートの概要 「子どもの権利について」

アンケートの実施結果は以下のとおりでした。
キッズ・モニターのみなさん、ご協力ありがとうございました。

概要

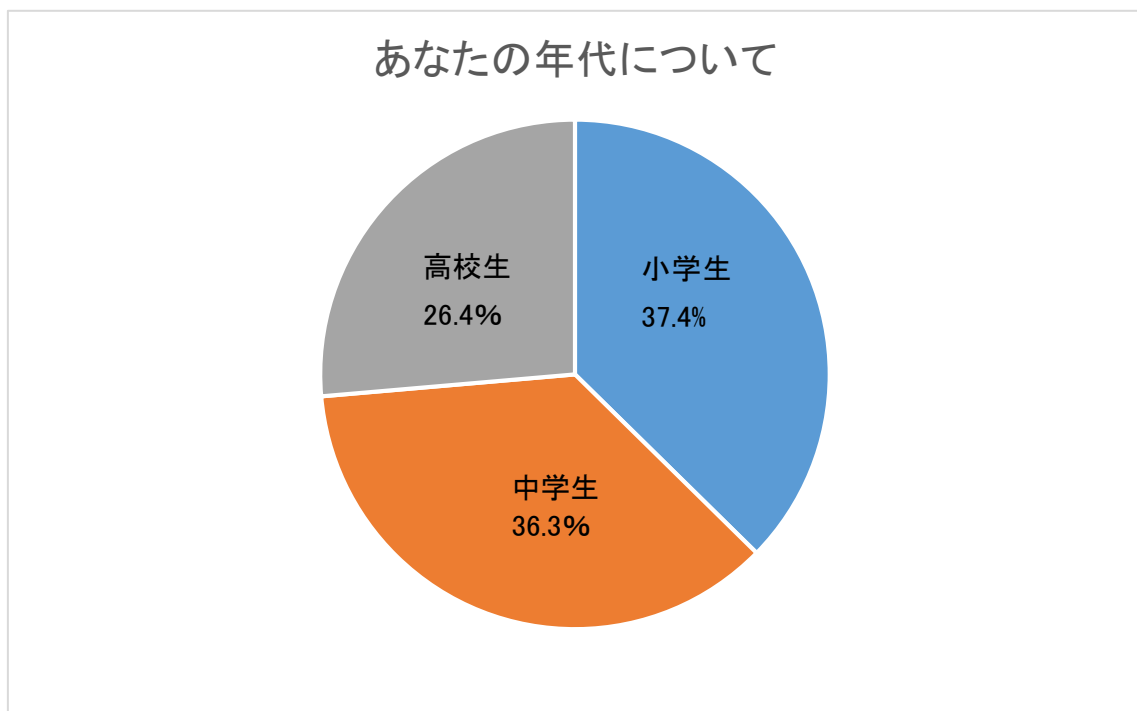
1. 実施期間 令和4年8月26日（金）～令和4年9月12日（月）
2. 回答者数 182人
3. 回答率 32.6%（182人／558人）
4. 実施方法 インターネットによるモニター調査
5. 担当課 子ども・福祉部 少子化対策課

アンケート結果概要

Q1 あなたの年代はどれですか。

【単一回答】

今回答えていただいた方の年代は、下のグラフのようになりました。

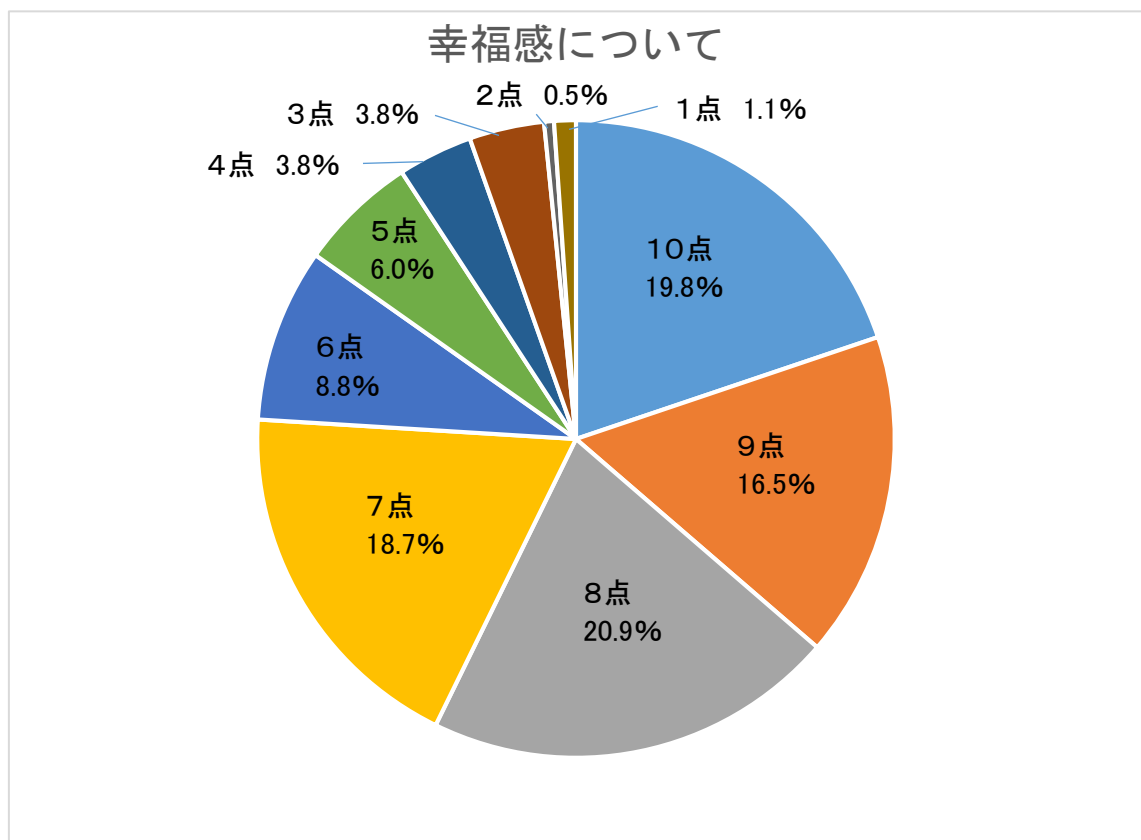


Q2 今、あなたはどのくらい幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

【単一回答】

多かった順に、8点が20.9%、10点が19.8%、7点が18.7%、9点が16.5%となっており、10点から7点までを合わせると75.9%となっています。

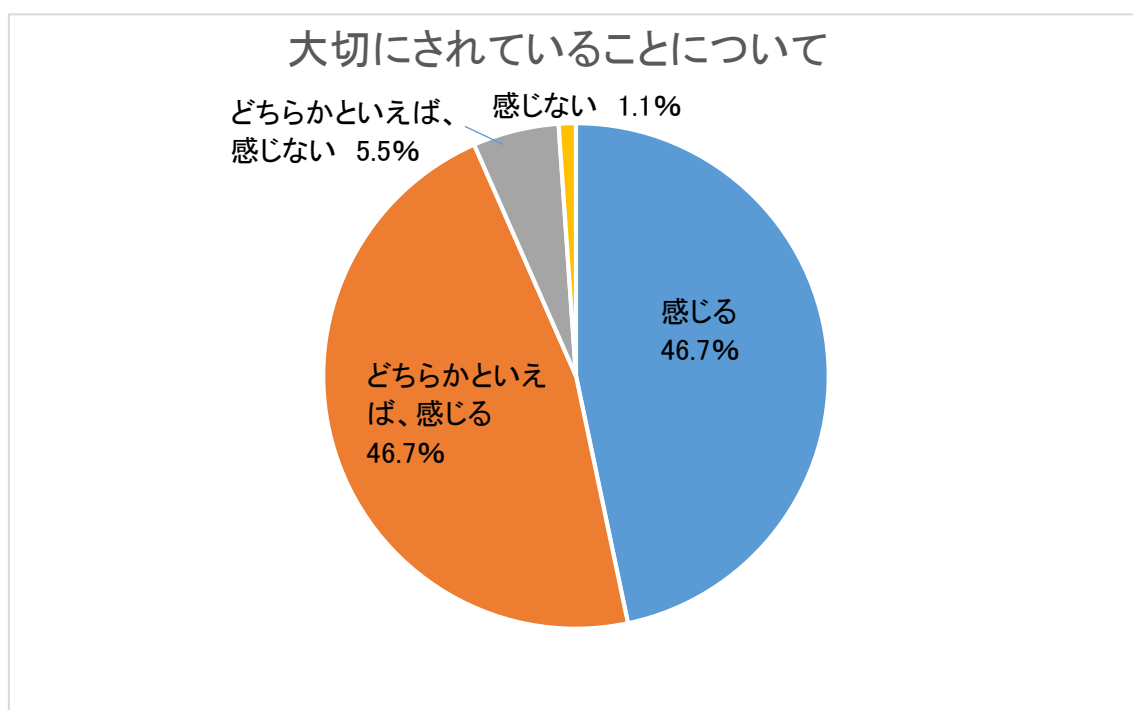
平均値は、7.6点でした。



Q3 あなたは、家庭や地域（ちいき）、学校などふだん生活しているなかで、「大切にされている」と感じますか。

【単一回答】

「感じる」と「どちらかといえば、感じる」と回答した人を合わせると93.4%、「どちらかといえば、感じない」と「感じない」と回答した人を合わせると6.6%となりました。



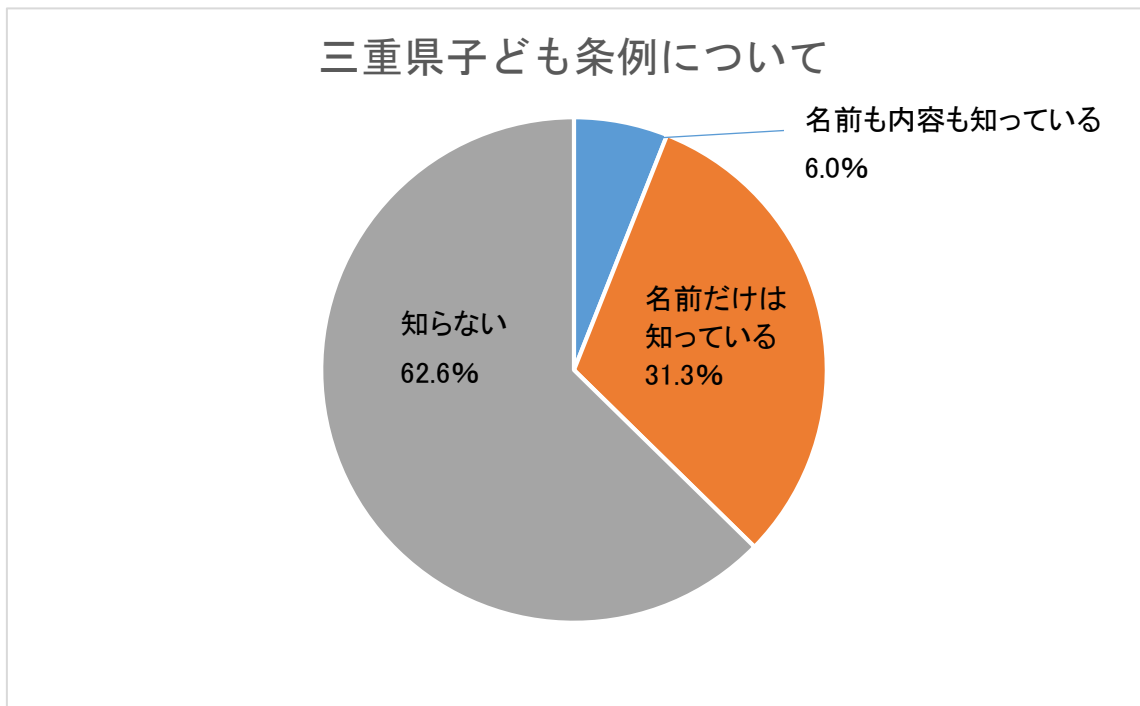
Q4 三重県では、すべての子どもが人として大切にされて生きることができるように、子どもの権利（けんり）について決めた「三重県子ども条例」があります。

あなたは、「三重県子ども条例」のことを知っていますか。

【単一回答】

「名前も内容も知っている」と「名前だけは知っている」と回答した人を合わせると37.3%となりました。一方、「知らない」と回答した人が62.6%と最も多くなりました。

子どもの権利を守るためには、「三重県子ども条例」がもっと広く知られるよう取り組む必要があります。

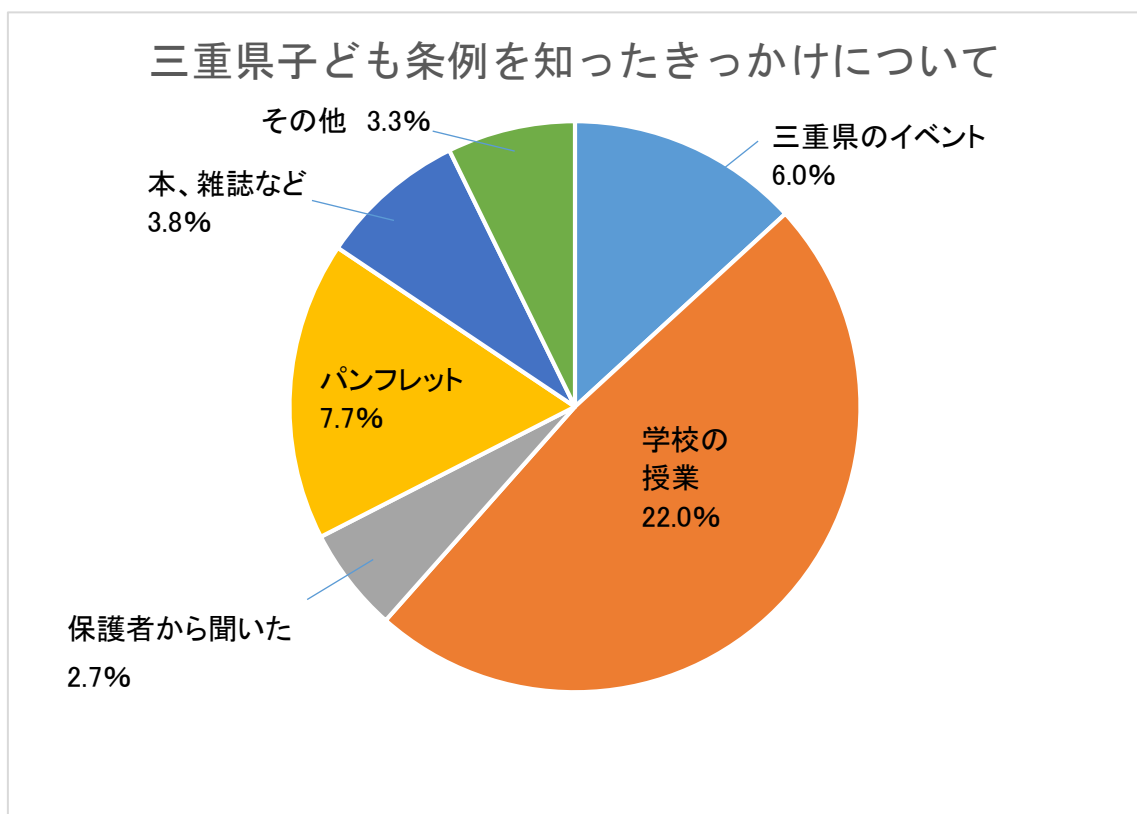


Q5 Q4で「① 名前も内容も知っている」「② 名前だけは知っている」と答えた人にお聞きします。あなたが「三重県子ども条例」を知ったきっかけは何ですか。
あてはまるものをすべて選んでください。

【複数回答】

「学校の授業」が最も多く22.0%、次いで「パンフレット」が7.7%、「三重県のイベント」が6.0%などとなっています。

もっと広く子ども条例を知ってもらうためには、学校との連携を進めることが効果的と考えられる結果となりました。



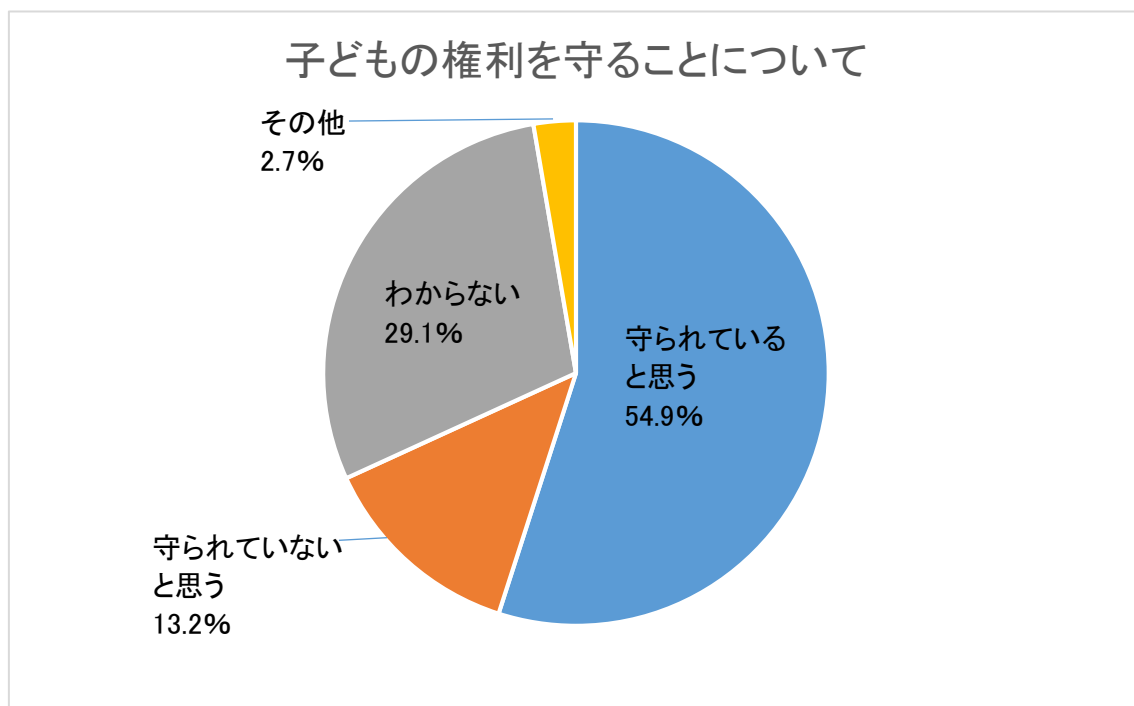
Q6 「三重県子ども条例」には、子どもの権利として次のようなことが決められています。あなたのこうした権利は守られていると感じていますか。

(「三重県子ども条例」に決められた子どもの権利)

- 健康に生まれ、安心して生きられること
- 虐待（ぎゃくたい）やいじめ、暴力（ぼうりょく）、差別から守られること
- 教育を受けたり、休んだり、遊んだりして、自分らしく育つこと
- 自分の思いや意見が大切にされること

【単一回答】

「守られていると思う」と回答した人が54.9%、「守られていないと思う」と回答した人が13.2%、「わからない」と回答した人が29.1%となりました。



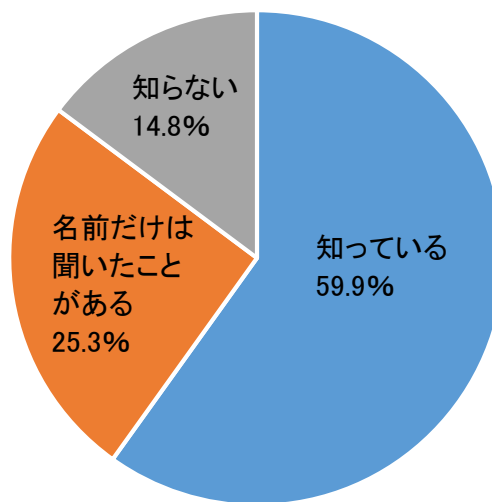
Q7 三重県では、「三重県子ども条例」に決められた子ども専用の相談窓口（そうだんまどぐち）として「こどもほっとダイヤル」を運営（うんえい）しています。

あなたは、「こどもほっとダイヤル」を知っていますか。

【単一回答】

こどもほっとダイヤルを「知っている」と回答した人は59.9%、「名前だけは聞いたことがある」と回答した人は25.3%、「知らない」と回答した人は14.8%と、多くの人知っているという結果になりました。

こどもほっとダイヤルについて



Q8 新型コロナウイルス感染症（かんせんしょう）の影響（えいきょう）について

あなたが今、不安に感じることや不満に思うことはどんなことですか。

例) 楽しみにしていた学校行事（運動会、修学旅行など）やイベントが中止になった。

【自由回答】

みなさんからいただいたたくさんの意見を、以下のとおり、年代ごとに、主に3つ（【学校のこと】【コロナ対策、感染不安など】【その他】）に分類して紹介します。

※いただいた意見の内容を見て、こちらで分類しています。

いくつかの分類にあてはまる意見は、どれか1つの分類に入れていますので、ご了承ください。

【小学生モニターの方から】

【学校のこと】(21件)

- ・5年のキャンプに行けるのかなと思う。
- ・学校行事の音楽会が自分たちの年は中止で次の年にはあったことです。
- ・学校でのイベント、夕涼み会などがなくなったこと。
- ・楽しみにしていた修学旅行が県内である上に、1泊2日となった。他の行事も縮小か、なしかで、おもいきって楽しめない。友だちと普通に遊ぶこともできにくい。いつまで、続くかと思う。コロナにはかかりたくない。
- ・楽しみにしていた学校行事（発表会など）やイベントが中止になった。
- ・例年なら遠足で奈良へ行けたはずなのに行けなくなった。
- ・修学旅行が中止にならないか。
- ・運動会が今までのような対抗戦じゃないのがつまらない。
- ・学校行事が中止や延期になった。給食が黙食で楽しくない。マスクをつけるのが邪魔だし、友達やすれ違う人の顔が見えなくてわからない。
- ・運動会が開催できるか。
- ・学校行事などが少なくなった。
- ・運動会の時に、全学年でやるのではなく、学年別になっているし、家から見に来てくれる人も2人ぐらいだから、もっと沢山の人の顔にみてもらいたいです。
- ・毎年修学旅行は、奈良県と京都府に行っていたけれど、今年は、県外になるかもしれない。昔から行きたいと思っていて、また、歴史を勉強するにつれ、実際に見てみたいと思っています。修学旅行は、教科書のことを知れたりして面白いのにこのような形になりそうで残念です。

- ・自然体験教室という学校行事が1泊2日から、1日のみになった。
- ・感染すると学校に行けなくなって授業に遅れてしまうこと。学校や学童、地域の色々な行事が中止になってしまったこと。
- ・毎年秋に行われる楽しみにしていた学校行事が時間短縮をして行われるようになったり、飲食禁止になったりした。コロナで海外旅行に行けなくなった。
- ・学校で、コロナのため、おにごっこが禁止された。学校の休み時間に、友達と近くで話ができなくなった。
- ・学校がコロナで休みになるのが嫌だ。遠足やキャンプに行きたいから中止にならないか心配。
- ・学校行事（全校生徒でやる運動会）がなくなった。気軽にお友達と遊べなくなった。旅行にもなかなか行きにくい。
- ・夏の学校での行事(サマーフェスタ)がなくなったのが中止になった。
- ・修学旅行、もっと中身のある旅行がしたかった。パルケエスパーニャー日とつまらなさ過ぎ、野外学習、泊まりで行きたかった。オンラインで式とか集会とかしているけど、音声ほとんど聞こえなくて、画像もブチブチ切れてばかり。意味なさすぎ。マスクとアルコールでコロナがなくなるならとうの昔になくなっているはず。意味ないことで不自由すぎ。バカバカしい。ワクチン、打つか打たないかは自分で決めさせてほしい。強制やめて。

【コロナ対策、感染不安など】(11件)

- ・受験をするから、冬に流行ったりかかるのが怖い。
- ・マスクの規制が厳しい。ワクチン接種の努力義務開始により、打たない人に対する風当たりが心配。
- ・マスクとっていいって言っているから勘違いしてマスク無しで大声出している人がいる大人がいたりする。
- ・コロナでマスクをすることになったこと。自由な遊びができなくなったこと。
- ・友達が、マスクを着用していない時がある。
- ・マスクをしなければならないこと。
- ・外出でコロナがうつるかも。
- ・自分がコロナに感染しないか心配です。
- ・友達が感染して、完全に治るものなら怖くないけど、後遺症が残るなら怖いと思うので、感染が不安です。
- ・明日から、学校があるけどみんなが、コロナになっていないか心配。
- ・自分がコロナにかかるかどうか。

【その他】(23件)

- ・コロナ感染が怖いので家族での外出や外食が極端に減って、行く所も制限されること。家でゲームやテレビばかりで、勉強する気力がなくなっていくことに不安を感じる。
- ・体の弱い人とかお年よりが、じしゅくをしないといけないから、コロナはこわい。
- ・地域の行事が無くなった。マスクを着用していない人が居ること。感染した後の後遺症が心配。
- ・バザーなどのイベントが無くなった。
- ・イベントがあったのに無くなってしまうこと。
- ・旅行できないこと。
- ・毎年やる夏祭りがなくなりました。
- ・家族や友達が病気になって会えなくなること。
- ・コロナの影響で外出する事が少なくなった。コロナの人数が増えてきて不安に感じる事が多くなった。毎日コロナの人数を気にして過ごすようになった。コロナがなかったときと今は少し生活がかわってしまった。
- ・行きたい所にいけない。
- ・いとこと旅行にいけなくなった。
- ・家族旅行に行けなくなった。毎日のマスクが嫌。
- ・家族や友達がコロナになって相手も、自分も不安になったりしてしまうのが心配。
- ・お友達と遊ぶ予定が中止になった。学校がオンライン授業で嫌だった。
- ・コロナで、旅行とか行きたいところに行けなくなった。
- ・(不安)飼い鳥が嘔吐している。(不満)色々。
- ・県外にあまり遊びにいけなくなったことです。
- ・遊べないので残念です。
- ・夏休みの子ども会行事が中止になったこと。
- ・夏休みに遊びに行くことを楽しみにしていたのに、全然行けなかった。
- ・電車で遠いところまで行けない。鉄道まつりが中止になった。学年ごとの運動会じゃなくて、前のように全校生の運動会がしたい。社会見学の行き先が減った。地域巡りの行事が無くなった。東京のいところに会えない。マスクをしないで大声でしゃべってる人がいると、自分がコロナにかからないか心配。
- ・旅行に行きにくい。県外の動物園に行きにくい。学校行事でもオンラインが多くて、見るのが大変。レストランにあんまり行けない。タブレットを毎日持っていくから、重たい。いつになったら、コロナが終わるのか。
- ・物を買うお金が高い。

【中学生モニターの方から】

【学校のこと】(21件)

- ・修学旅行が県内になったこと。
- ・修学旅行に行けなくなった。
- ・部活の大会が正常に行われるかどうか。
- ・修学旅行が地元になった。
- ・クラブ活動が制限された。
- ・学校行事が中止になったり縮小されたりしたこと。友達と遊びに行きたくても、場所や日にちが制限されたこと。コロナの影響がいつまで続くのかわからず、希望が持てないこと。
- ・自由研究の展示会がなくなって残念。
- ・学校行事が中止になるかも。
- ・修学旅行が近場になった。
- ・授業参観や体育祭など、保護者の参観の機会がなく淋しいと思う。
- ・コロナのせいで、修学旅行の行き先が変わったりすること。また、突然中止になったりすることがあるので、行けるのかわかりません。ギリギリまで不安だった。
- ・コロナが身近に迫っているため、またいつ休校や行事が中止になるか、心配。
- ・給食の時間、黙食しなければいけなくなったこと。運動会が、縮小されコロナ前の運動会(本当の運動会)を知ることがなく卒業してしまうこと。友達との距離が離れてしまうこと。
- ・学校行事は開催できても、縮小した形になってしまう。
- ・学校のイベントがコロナによって無くなったりすること。
- ・行事がなくなったり、音楽や体育の授業の内容が変わったりした。
- ・学校行事が少ない。
- ・体育祭や文化祭が縮小された。修学旅行の行き先が変更になった。
- ・クラブ活動が縮小された。
- ・学校の合唱祭が去年と一昨年の二年連続で中止になり、最高学年の三年生も経験したことがないので上手くいくか不安です。また、今のところ開催される予定ですが中止にならないか心配です。
- ・去年の校外学習がしょぼすぎた。6年の時の修学旅行が県内だった。今年の体育祭も平日で半日になる。大人がコロナコロナとうるさい。ワクチンが怖い。マスクを外したくなくなる。

【コロナ対策、感染不安など】(9件)

- ・夏休みが終わって2学期が始まると、感染が増えそうで心配です。
- ・マスクが暑い。
- ・マスクは法律で強制されていないのに強制のように感じていること。
- ・コロナに感染しないかが不安。

- ・マスク着用が多い。学級閉鎖。
- ・この先ずっと今の状況が続くのかと思うとゾッとする。小学生の頃がうそのような生活。
- ・コロナがもっと増えること。
- ・コロナウイルスに感染すること。
- ・コロナという感染症が発見され3年経ちますが、新種が見つかるばかりでいっこうに収束がみえず、いつまでマスク生活が続くのか不安です。

【その他】(13件)

- ・ライブが無くなった。部活対抗リレーが無い。
- ・旅行に行けなかった。
- ・様々なイベントが中止になった。
- ・中学に入って出会った人たちは、ほとんどマスクをしている顔しか知らない。
- ・友達と遊んだり、色んなところに行けない。
- ・何も気にせず旅行へ行きたい。
- ・お祭りやイベントがなくなって、さみしい。
- ・外出などをする機会がぐんと減って人との関わりがなくなったり自分自身が外に出るのを嫌がるようになったりした。(家でもずっとぐうたらしているようになった。)
- ・旅行や他県に出かけにくい。
- ・三重県知事の決定が中途半端なことが多い。
- ・予定されていたコンサートが延期になった上にスケジュールがパンパン。
- ・いつ遠出できるか心配。
- ・行事が縮小し、楽しみが減った。部活の練習試合も、コロナで減った。

【高校生モニターの方から】

【学校のこと】(14件)

- ・修学旅行の行き先が何度も変更になったこと。
- ・感染対策として学校生活に必要以上の制限がかかっているように感じる。部活動の大会と学校行事が次々と中止になっていくことに虚無感を感じることも少なくなかった。感染対策のためにあらゆる事を我慢しなければならないことは理解しているつもりだが、思い描いていた生活を送ることなくあと半年で高校の三年間を終えることは非常に残念である。
- ・修学旅行で九州に行けるのか不安。
- ・修学旅行がつまらなかった。部活の活動も制限され、コロナはこどもに制限がおおくしわ寄せがいついていとおもう。
- ・修学旅行の行き先も変更になったし、感染するのが怖いので行きたくない気持ちが大いなのに、行くかどうかについての選択肢がない。

- ・いつ学校行事が中止になるかわからない。
- ・楽しみにしていた学校行事、イベントが中止になった。
- ・学校行事の縮小、予定していた行事の中止など。高校生らしいことをせず3年間で終わってしまいます。文化祭なども一度も外部の人を入れずに開催となりました。残念です。
- ・3年間1度も例年通りの学校行事が出来ず、夢描いていた高校生活が全く描けなかったこと。修学旅行の行先が時期はずれたけど予定通りだったところが多かったのに対し、予定通りの所に行けなかった学校もあるということ。あっちの学校に行けばよかったな…とよぎってしまった。
- ・以前はオンライン授業になったのになぜ今はならないのか。オンライン授業ができる環境があるのだから、ぜひそうしていただきたいです。学校でもかなりコロナ感染が広がっており不安です。
- ・公の行事は率先して行うのに学校行事は規模縮小や中止を余儀なくされていること。
- ・中学校の時、部活が思うようにできず、大会も実施されなかった。いまだに、「中学2年生からやり直したい」と思う。
- ・私立なので、自分の学校だけ行事がなくなったり、修学旅行の行き先が隣県になったりしたこと。
- ・部活の発表会、気軽に出かけられない。人が多いところに恐怖を感じる。

【コロナ対策、感染不安など】(9件)

- ・政府が行動制限をなくしたため、感染者が増加し医療従事者が厳しい状況に置かれている。助成に関しても一部の職種だけで、厳しい状況に置かれている人に平等に対策をしてほしい。同じように大学生や専門学校生にも手を差しのべてほしい。ひとり親世帯以外のすべての助成に対して条件が厳しすぎると思う。住民税均等割非課税など、かなり所得が低い家庭しか当てはまらないと思う。せめて、所得割非課税にするべきだと思う。
- ・長期休みなどの時、自分がコロナウイルス感染症にならないために、遠くに行ったり、人とマスクを外した状態で長時間一緒にいることを避けるなどの工夫をしても、長期休みが終わった後に、学校に来るほかの人が無症状でかかっている可能性があり、お昼の時間など自分の工夫ではどうしようもなく、ほかの人とマスクを外した状態で過ごす時間が出来てしまい、自分の中で工夫をしても、濃厚接触者になってしまう可能性が高まってしまうことに不安や不満を感じています。
- ・行動制限はなくなったけれども、感染を恐れて外出するのをためらってしまい、学校や部活動で出るくらいで家にいることが多い。
- ・コロナになったときに周りが濃厚接触者になること
- ・マスクが手放せなくなったこと。
- ・かかりたくない

- ・ 大学受験が迫る中、自分がコロナに感染したり、濃厚接触者になった場合、志望校を受験できなかつたり、思うように勉強できなかつたり、実力が発揮できなかつたらどうしようという、漠然とした不安を抱えています。
- ・ マスク生活が長すぎる。身近にコロナ感染者が増えてきて不安。修学旅行に行けるのかわからない。
- ・ いつ自分がコロナにかかってしまうのかが心配。

【その他】（5件）

- ・ 大学入試、留学。
- ・ 感染してなおった後、友達との距離感など人間関係が心配です。
- ・ 行事が中止になること。
- ・ 夏休みに、遠方に住んでいる祖父母に会うことができなかつた。
- ・ 青春全部消えたのに大人は仕方ないと片付けてずるいと思う。